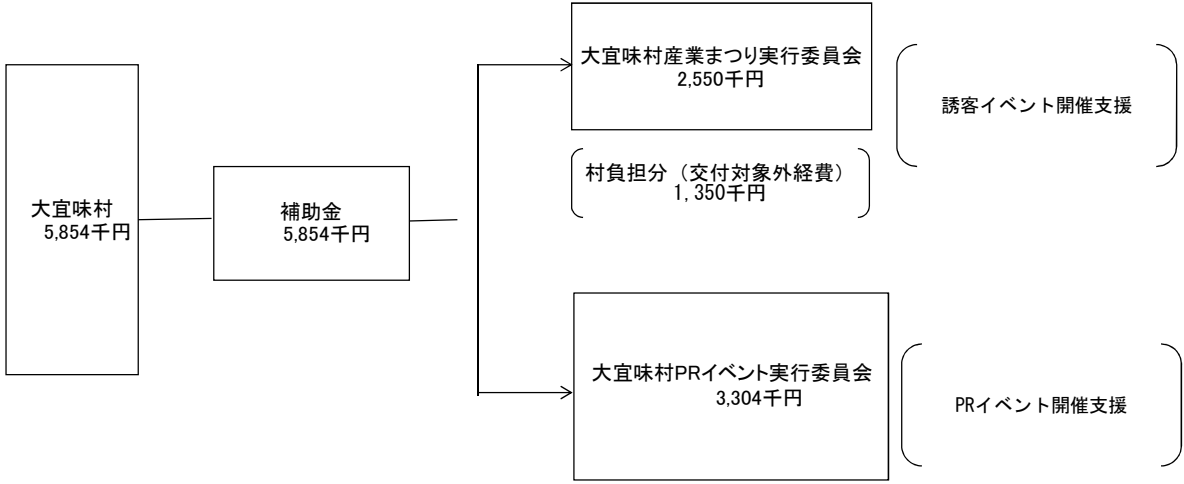


市町村名	大宜味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	大宜味村観光情報発信整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-イ	
担当部課名	産業振興課・企画観光課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	島々の資源・魅力を活かし、 存在力を引き出す産業振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつり及びPRイベントを開催し、 交流人口の増加を促進する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	12,550	14,550	5,000	7,000	10,350
		(b) 予算現額	12,550	10,050	390	1,223	11,250
		(c) 増減額(b-a)	0	▲4,500	▲4610	▲5,777	900
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	12,550	10,050	390	1,223	11,250	
	B. 執行済額	9,138	6,103	390	1,223	5,854	
	うち交付金充当額	7,310	4,882	312	978	4,683	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	72.8%	60.7%	100.0%	100.0%	52.0%	
予算の状況の説明	・産業まつりについては、900,000円の予算増額をし、当初予定していた事業内容はすべて実施した。 ・PRイベントについては、コロナウィルスの減少もあり、開催回数を前年度より多く行うことが出来たが、当初予定していた人員が確保出来なかったため予算の減額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	産業まつり誘客イベント開催支援		目標 (開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	
			実績	実施	中止	実施	
	PRイベント開催支援		目標 (開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	
			実績	実施	実施	実施	
達成状況説明	・産業まつり:令和5年1月21日、22日(2日間)に開催。計画していた事業内容はすべて実施できた。 誘客増のための、 ①会場活用イベント→イベントを行うための会場設営費・放送費等を支援している。 ・PRイベント: ①令和4年8月20日～21日ちむどんどん返子 2,200人。 ②令和4年10月1日～2日 やんばるちーむどんどんイース豊崎 10,000人。 ③令和4年10月8日～9日 かにえ町民まつり 10,000人。 ④令和4年10月21日～23日 沖縄県産業まつり 239,100人 ⑤令和4年10月22日 こども文化祭ろまんちっく村 6,000人 ⑥令和4年11月5日～6日(2日間) 大阪なんばグランド花月 約6,000人 ⑦令和4年11月5日～6日(2日間) 第7回鶴見ウチナー祭 90,000人。 ⑧令和4年11月5日～6日(2日間) 第37回西合津ふるさとまつり 4,000人						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	大宜味村産業まつり来場者数		目標 ()	(5500人)	(5,500人)	(5,000人)	()
			実績	未実施	未実施	4,600人	
	PRイベント来場者数		目標 ()	(15,000人)	(10,000人)	(11,000人)	()
		実績	約1,300人	約14,700人	約367,000人		
進捗状況説明	・産業まつり:三年ぶりで初めて会場での開催を実施した。新型コロナウイルス流行前とほとんど差の無い来場者数だったが、滞在時間は例年より長い。 また、村と友好交流のある宮城県石巻市観光協会と漁協、秋田県湯沢市観光物産協会、福島県西会津町、愛知県蟹江町を招いてテナントブースにて特 産品販売を行った。 ・PRイベント:令和4年8月～令和4年11月にかけて、8都市でPRイベントに取り組み、計16日間開催し、約367,000人が訪れた。リピーターの来場も着実 に増えており、大宜味村の観光物産のPRを交流者に実施できたと考えている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(産業まつり) 3年ぶりの開催、新しい会場での開催となった。新会場となったことにより、出店店舗の制限や、特産品等の展示、駐車場に限られてしまった。駐車場は臨時駐車場を設置したが、会場と駐車場に距離があるため、高齢者や子連れの方が大変そうだった。また、飲食では子供向けのものが少なく、村内にお金の落ちる方法を考える。	(産業まつり) ①広報活動や周知の更なる強化を行う。 ②前回、旧大宜味小学校グラウンド・今回塩屋漁港広場での開催となったが、場所の定着や駐車場・会場の広さアクセスの良さを考え場所を選定する必要がある。 ③大宜味村の特産品シークワサーに関する体験型イベントを常時設置する必要がある。
	(PRイベント) 令和4年度はコロナの治まりもあり、各地域でのイベント開催が多く行われ、大宜味村をPRすることができ、予想以上の来場者等のイベント箇所もあり、商品が足りなくなる場所もあった、令和5年度は周りの状況も見ながら商品数を持っていきたい。	(PRイベント) ①より多くの方々に大宜味村のPRをするために、開催場所について検討する。 ②来場者に対し、より効果的PR方法の検証及び取組体制を見直して継続してPRイベントを実施する ③大宜味村の特産物及び物品販売の強化に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>(産業まつり)</p> <p>①周知期間を長くするためプログラムを早めに決定し、チラシ作成の発注を早い段階で行う。 ②老若男女が楽しめるイベントを開催する。</p> <p>(PRイベント)</p> <p>①令和5年度はイベント交流人口10,000人以上を目標に、より多くの方々に大宜味村をPRするため、大都市をはじめ新規開催地での実施を検討する。 ②大宜味村の魅力PRするための強化をするため観光ガイドマップ等の活用に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
産業まつり	3,900	2,550	2,040	510	1,350
PRイベント	3,304	3,304	2,643	661	
合計	7,204	5,854	4,683	1,171	1,350



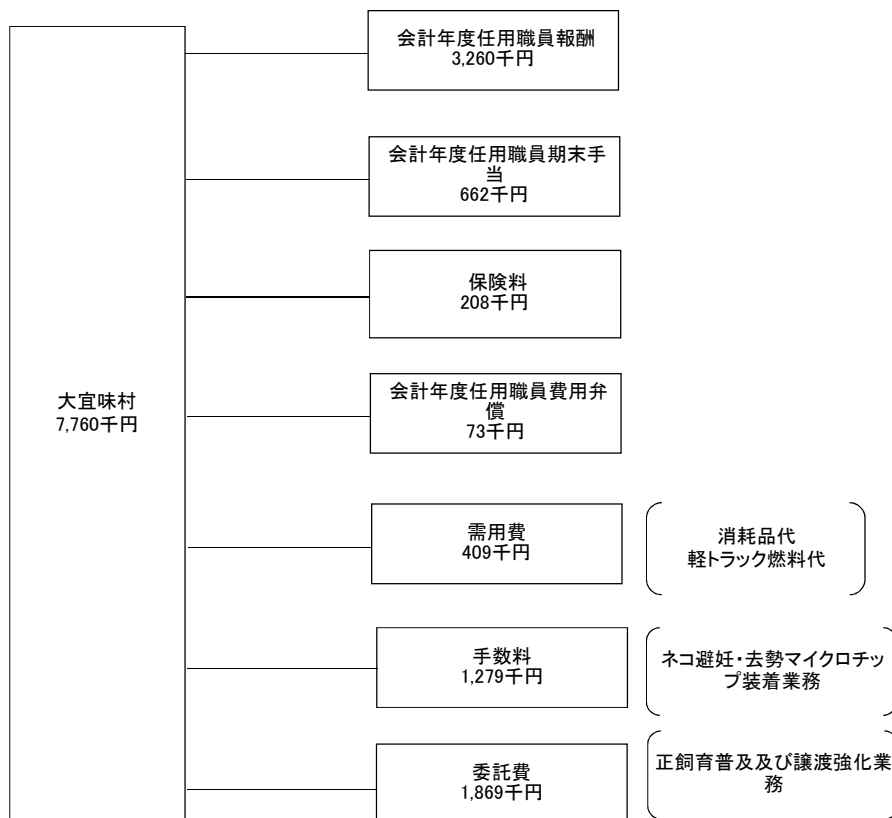
資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は産業まつり実行委員会及びPRイベント実行委員会となっており、事業内に沿って妥当であった。 ○予算規模については予算の状況説明に記載、イベント等についてはコロナウイルス等を考慮しながら事業を行っていきたい ○費目・使途についても必要なものに限定されており適切なものとなっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村					
令和4年度沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	環境保全・美化推進事業			新・沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア	
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	平成16年度 ～ 令和13年度	沖繩振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	野良犬、野良猫、ハブ対策として環境保全の作業員による保護・捕獲器の設置、回収を行い地域住民や観光客の安全確保を図る。また、猫の適正飼育の周知や、猫の譲渡強化等を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,549	5,724	7,741	9,082	9,416
		(b) 予算現額	5,549	5,724	10,504	9,082	8,631
		(c) 増減額(b-a)	0	0	2,763	0	▲785
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,549	5,724	10,504	9,082	8,631
	B. 執行済額		4953	5576	10182	8,347	7,760
	うち交付金充当額		3962	4461	8145	6,677	6,208
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		89.3%	97.4%	96.9%	91.9%	89.9%
予算の状況の説明		予算額に対し89.9%の執行率となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	賃金作業職員(2人) ※賃金調査職員(2人) ※はR3年度まで		目標 (4人)	(4人)	(4人)	(2人)	
			実績 4人	4人	4人	2人	
	各保護・捕獲器の設置 (ハブ、犬、猫)		目標 (ハブ30台 犬3台)	(ハブ30台 犬3台)	(ハブ30台 犬3台)	(ハブ40台 犬3台)	
			実績 ハブ30台 犬3台 猫10台	ハブ30台 犬3台 猫10台	ハブ30台 犬3台 猫10台	ハブ40台 犬3台 猫10台	
	猫の譲渡の実施		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績 実施	実施	実施	実施		
達成状況説明		・会計年度任用職員を2人配置し、ハブ捕獲器設置回収、犬・猫の保護器設置回収を実施し、ハブ罠40台、犬罠3台、猫罠10台以上を設置を行い、ハブを32匹の捕獲、犬を6匹、猫を73匹保護した。 ・観光地周辺及び、村内で目撃事例が多数報告されている地域へ、ハブ捕獲器の設置、野良犬・野良猫が多い地域へ犬・猫保護器を設置したことにより、ハブの捕獲、犬・猫の保護を行い事業実施をすることができた。 ・村が保護し譲渡する猫に対して、猫の避妊・去勢等を目標どおり実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①ハブ咬傷被害:0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		1件	1件	3件	
	②ヤンバルクイナの生息率:23.08%以上	目標	()	(15.4%以上)	(33.33%以上)	(23.08%以上)	()
		実績		33.33%	33.33	28.2	
	③保護した猫の譲渡:150件以上	目標	()	(80件以上)	(80件以上)	(150件以上)	()
		実績		264件	135件	73件	
進捗状況説明		・ハブ咬傷被害は3件であり目標未達成となった。 畑や、夜道での咬傷被害発生している。 ・ヤンバルクイナ生息率については、28.2%となった。昨年度より下がったが、調査の誤差の範囲内と考えられる。 ・ネコの譲渡件数については、愛護団体との連携及び地域住民への周知活動を行い73件となった。 昨年度と比較して減少しているが、捕獲対象個体の減少が大きな要因となっており、良い傾向であると考え。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	<p>・ハブ咬傷被害の未然防止については、観光地周辺及び、村内で目撃事例が多数報告されている場所へハブ捕獲器を設置しているが、畑や、夜道での咬傷被害が発生していることから、更なる注意喚起が必要であると考え。</p> <p>・ヤンバルクイナの生息率については、昨年度同様、近年で高い数値を維持しており事業効果を実感している。目標未達成となっているが、調査における誤差の範囲内と考える。また野良ネコの目撃情報も減少しているが、一部の飼い主による不適正飼育の結果、飼猫が屋外で目撃されるケースが発生している。</p> <p>・ネコの譲渡について、愛護団体等と連携し定期譲渡会を開催した事により、スムーズな譲渡活動が可能となった。昨年度と比較して譲渡件数が減少し、未達成となっているが、捕獲対象個体の減少が主要因であり、良い傾向にあると考える。また、不適正飼育の実態もあることから、継続した指導が必要である。</p>	<p>・ハブ咬傷被害の未然防止について、例年通り捕獲器設置を行うと共に、広報誌への定期掲載や村内放送等で注意喚起を行う。</p> <p>・ヤンバルクイナの生息率について、野良猫の数の縮減に努める一方、飼い主への定期訪問等、飼猫の適正飼育の継続的な呼びかけも力をいれていきたい。</p> <p>・ネコの譲渡に関して、村内のみならず、県外や他団体との連携を図り譲渡強化すると共に、飼い主への定期訪問を含めた適正飼育の徹底を促す必要がある。</p>	
	今後の取り組み方針		
	<p>・ハブ咬傷被害の未然防止について、例年通り捕獲器設置を行うと共に、広報誌への定期掲載や村内放送等で注意喚起を行う。</p> <p>・ネコの適正飼育及び、野生化したネコの保護、避妊去勢の推進を行う。</p> <p>・ネコの譲渡に関して、譲渡会の定期開催を行うと共に、村内・村外及び県外への譲渡を強化していく。さらに、適正飼育の徹底を継続して促す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,760	7,760	6,208	1,552	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○任用職員は、村の規則に準じ採用した。</p> <p>○予算規模は、89.9%の執行率となり、事業規模は適正である。</p> <p>○費目・用途については、事業実施に必要不可欠なものであり、計画・支出等に関する書類により確認・適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	大宜味村エコツーリズム推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画観光課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界から選ばれる持続可能な 観光地の形成と沖縄観光の変革 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	観光客の受入体制を強化するとともに、体験滞在型の観光プログラムの創出、観光ガイドの育成により大宜味村及びやんばる地域の特性を活かした事業展開による観光振興及び交流人口の増大を目指す。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額					12,664	
		(b) 予算現額					8,237	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 4,427	
		(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	8,237	
	B. 執行済額						8,083	
	うち交付金充当額						6,466	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.1%	
予算の状況の説明		・エコツーリズム推進事業については、当初予定していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	大宜味村内観光ガイドの育成及び観光に関するマニュアルの作成		目標	()	()	()	(マニュアルの作成)	
			実績				作成済	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	マニュアルの作成について、大宜味村「黄金人(クガニーンちゅ)プロジェクト」基本計画策定委員会を設立して下記の日程で委員会を開催した。 ・大宜味村「黄金人(クガニーンちゅ)プロジェクト」基本計画策定委員会 4回 ・現地踏査及び意見交換会 2回 ・特別講演会・参加者と講師の質疑応答 2回 ・先進地視察							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
	大宜味村内観光ガイド育成に関するテキスト作成		目標	()	()	()	(テキストの作成)	()
			実績				作成済	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	テキスト作成については、マニュアル作成時の大宜味村「黄金人(クガニーンちゅ)プロジェクト」基本計画策定委員会にて「ガイド養成に関するテキスト作成の検討会」も併せて開催し、ガイド育成に関する先進地視察を行い「おおきみ案内人 公式テキスト(素案)」を作成した。						

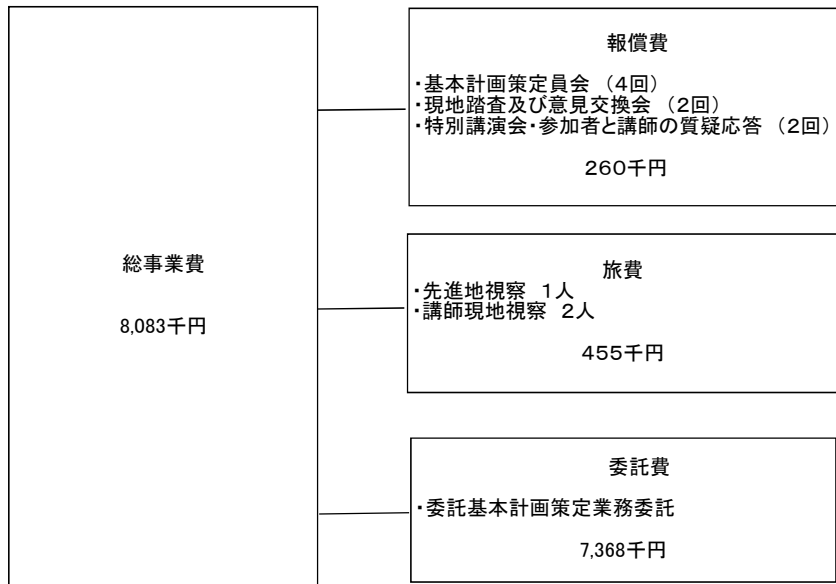
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 策定委員会の開催、現地視察及び意見交換会、特別講演会、先進地視察などを行い、ガイド育成参考テキストの作成及び推進条例(案)の作成をすることが出来た。 ガイド育成参考テキストが大宜味村モニターツアーガイド育成に合っているかを試行、検討を行い、テキスト内容確認を行っていきたい。 	<p>現在行っているガイド育成テキスト及び観光における推進条例の検証を行い、地域に合ったテキスト作成及び条例を制定したい。</p>

今後の取り組み方針

今年度作成した基本計画(案)・おおぎみ案内人テキスト(案)・観光における推進条例(案)を令和5年度で検証を行い、地域に合ったテキスト作成を行い、大宜味村ガイド要請及び募集を行いたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
8,083	8,083	6,466	1,617	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、98.1%の執行率となり、事業規模は適正である。 ○費目・使途については、事業実施に必要な不可欠なものであり、計画・支出等に関する書類により確認・適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「生きる力」を育む 学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	11,175	11,175	11,878	13,045	13,775
	(b)予算現額	11,175	11,175	11,878	13,045	13,775	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	11,175	11,175	11,878	13,045	13,775	
	B.執行済額	10,106	10,742	11,404	12,479	13,191	
	うち交付金充当額	8,084	8,593	9,123	9,983	10,553	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	90.4%	96.1%	96.0%	95.7%	95.8%	
予算の状況の説明	事業開始当初から学習支援員の人員確保ができて円滑な事業実施ができた。社会保険料について法改正により、令和4年10月から健康保険料等について、協会けんぽから共済会への支払いとなり負担率も変わったこと。また新人の支援員がいたため、賞与の支給が満額ではなかったことによる予算残額が出た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	小学校3名配置	目標	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	
		実績	1小学校×3人	1小学校×3人	1小学校×3人	1小学校×3人	
	中学校2名配置	目標	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	
		実績	1中学校×2人	1中学校×2人	1中学校×2人	1中学校×2人	
達成状況説明	・村内の小学校1校に3名、中学校1校に2名学習支援員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	・令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0ポイント以上	目標	()	(0ポイント以上)	(0ポイント以上)	(0ポイント以上)	()
		実績		1.9ポイント	2.3ポイント	5.8ポイント	
	・令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 0ポイント以上	目標	()	(0ポイント以上)	(2.4ポイント以上)	(0ポイント以上)	()
		実績		0.1ポイント	-0.6ポイント	-4.0ポイント	
進捗状況説明	・成果目標の設定を沖縄県の到達度調査を用いて設定している。小学校においては県との比較ポイントを0ポイント以上としていたが、目標を前回よりもさらに上回る5.8ポイントまで飛躍できた。中学校においては目標を0ポイント以上としていたが、目標を達成できない状況であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては成果目標以上の沖縄県平均を5.8ポイント上回り大きな効果が見られた ・中学校においては全教科平均が県平均を-4.0ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は大きな効果が現れているので、引き続き支援員を3名配置し、行き届いた環境の維持が求められる。 ・中学校においては沖縄県到達度調査において沖縄県平均を下回る結果となっており、今後は支援方法の改善等を行い、まずは県平均並みの水準になるよう取組んでいく必要がある。

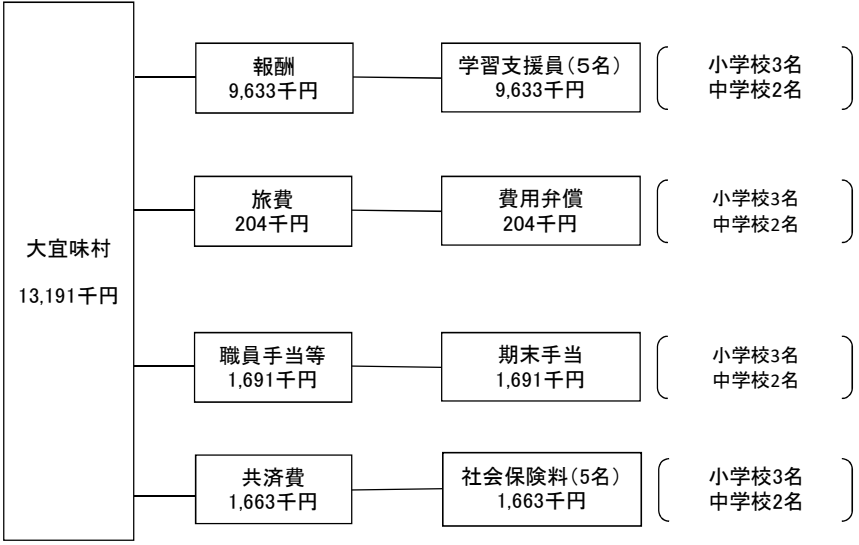
今後の取り組み方針

・小学校においては、成果目標の達成状況から見ても、支援による効果が大きいため今後も学力がしっかりと定着出来るよう支援員と共に協力しながら継続して学習支援に取り組んでいきたい。

・中学校においては今後、成果目標を達成するため、前回至らなかった点を支援員と共に協議しながら学習支援の取組方について改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,191	13,191	10,553	2,638	



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○予算規模については不用額は584千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要な支援員の報酬と共済費を支払った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	地域支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「生きる力」を育む 学校教育の充実		
事業内容	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等に対して生徒を支援する地域支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,235	2,235	2,359	2,613	2,755
		(b) 予算現額	2,235	2,235	2,375	2,613	2,755
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	16	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		2,235	2,235	2,375	2,613	2,755
	B. 執行済額		2,201	2,158	2,375	2,542	2,722
	うち交付金充当額		1,760	1,726	1,900	2,033	2,178
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.5%	96.6%	100.0%	97.3%	98.8%
予算の状況の説明		当初予算額提示後に地域支援員の予算執行の精査を行った結果、予算執行額として33千円の執行残となっている。執行率において98.8%となっており、予算執行において適切だったと考える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	地域支援員配置数 村内小中学校1人		目 標 (1小中学校×1人)	(1小中学校×1人)	(1小中学校×1人)	(1小中学校×1人)	
			実 績 1小中学校×1人	1小中学校×1人	1小中学校×1人	1小中学校×1人	
		目 標 ()	()	()	()		
		実 績					
達成状況説明	・地域支援員を小中学校に1人配置しており、不登校生徒の登校支援や登校後の校内学習・活動を主にサポートすることができている。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 小学校・中学校 100%		目 標 ()	(100%)	(100%)	(100%)	()
			実 績	27%	24%	17%	
			目 標 ()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	・不登校気味の児童生徒を不登校にさせないことを目標としているが、登校しぶりが多くみられた。不登校児童生徒についても今年度は83%発生している状況となった。 不登校気味の児童生徒数6人(うち不登校児童生徒数5人(小学校5人中学校1人))						

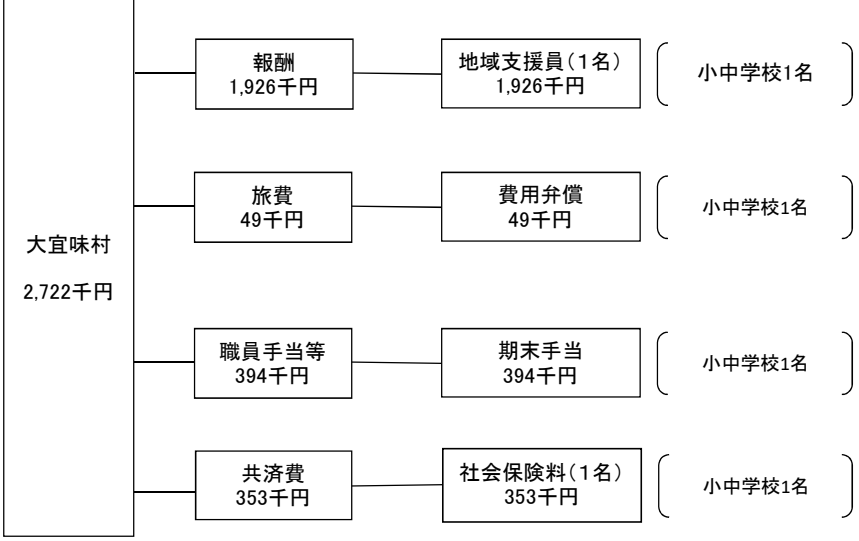
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援員だけでなく外部機関(教育委員会や民生員)と定期的に情報交換を行うことで、児童生徒を取り巻く諸問題に早急に対処できる体制づくりはできた。 ・児童生徒間のトラブルや進学時の環境の変化への戸惑いから不登校気味になる場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校渋りの児童においては、保護者が課題を抱えていることもあることから、家庭の巡回を行いつつ民生員や関係機関に繋げていくことで課題解決を図る。

今後の取り組み方針

- ・今後も地域支援員と教育分野(教育委員会、教育相談員)、福祉分野(民生員)との連携を図り、地域全体で児童生徒並びに保護者への支援体制を維持する。
- ・環境の変化が特に大きい小中学校進学時においては重点的なケアを行い、日々の児童生徒の交友関係にも気を配り、今後もきめ細かな支援を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,722	2,722	2,178	544	



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○予算規模については不用額は33千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要な支援員の報酬と共済費を支払った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ア		
担当部署名	教育課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な学びの享受に 向けた環境づくり		
事業内容	各社会教育団体の生涯学習活動及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、その活動を通して本村の自然や文化、社会への興味関心を培い、地域リーダーとなる人材育成を図るため、生涯学習活動事業を展開する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		2,523	2,523	3,121	3,359	3,519
			2,535	2,995	2,691	3,049	3,519
			12	472	▲ 430	▲ 310	0
			0	0	0	0	0
		2,535	2,995	2,691	3,049	3,519	
	B. 執行済額	2,411	2,716	2,537	2,923	2,990	
	うち交付金充当額	1,929	2,172	2,029	2,338	2,392	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.1%	90.7%	94.3%	95.9%	85.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で当初より事業計画・内容等に変更はあったが、コロナの状況を確認しながら執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	わんぱく体験団 6回以上開催 生涯学習講座 6回以上開催	目標	(12回)	(6回)	(10回)	(12回)	
		実績	13回	6回	9回	12回	
(空白)	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	新型コロナウイルスの影響により、当初計画していた講座の延期や内容に多少の変更はあったが、コロナ感染防止対策を行いながら目標としていた講座回数を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	講座受講者数:240名以上	目標	()	(60名)	(100名)	(240名)	()
		実績		74名	138名	151名	
(空白)	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響により当初予定していた講座受講者の人数制限や、コロナ感染の不安などから例年より応募者が少ない状況もあり、目標としていた受講者数に達することができなかった。						

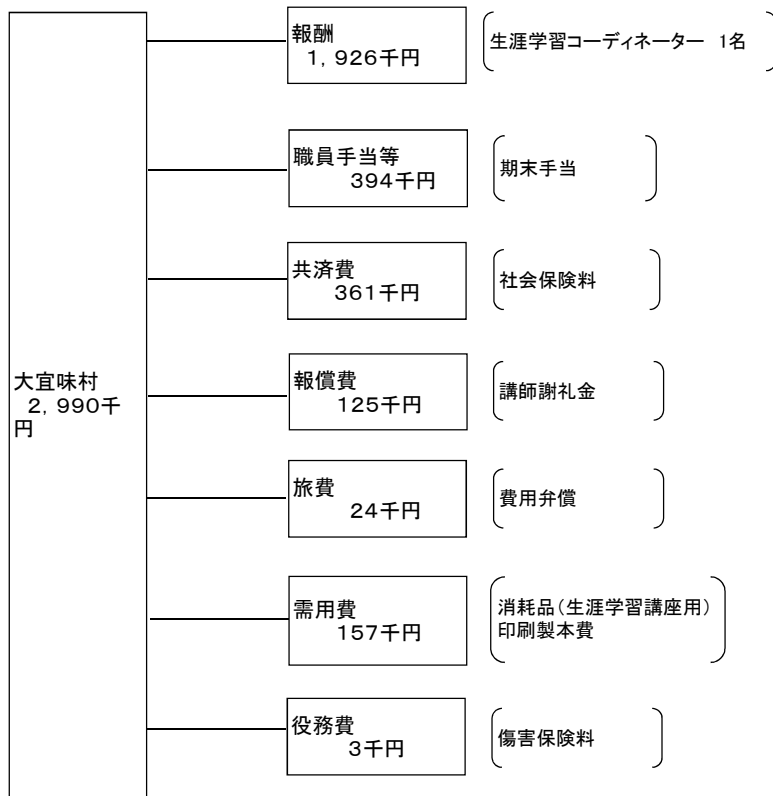
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響により、1講座あたりの募集人数を減らしたり、密を避けるなどのコロナ感染防止対策を行いながら講座の開催を行った。	未だ新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、住民の学習機会を確保・拡充し、地域のリーダーとなる人材の育成を図るため、引き続き講座の開催をしていく必要がある。

今後の取り組み方針

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、生涯学習講座の内容を充実させ、受講者に本村の自然環境を活用してミニキャンプや本村に住む生き物の観察・習性を学ぶ講座、本村の施設や特産物等を使って紙漉き・ものづくり講座などを開催し、本村の自然や文化等についての興味関心を高める取り組みを実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,990	2,990	2,392	598	



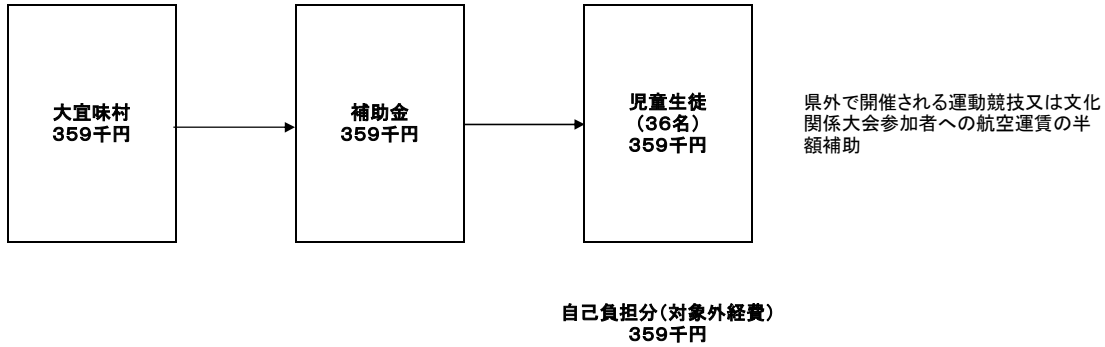
資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、生涯学習コーディネーターは、村の配置要項に基づき採用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○印刷製本数量の減などがあり、少々不要が生じたものの予算規模は適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村				
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-④ 児童生徒等県外派遣支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成26年度 ～ 令和11年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「生きる力」を育む 学校教育の充実	
事業内容	大宜味村に在住する児童・生徒(小学校・中学校・高校生)に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	901	911	1,435	700
	(b) 予算現額	688	494	503	411	730
	(c) 増減額(b-a)	▲ 213	▲ 417	▲ 932	▲ 289	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	688	494	503	411	730
	B. 執行済額	496	326	71	340	359
	うち交付金充当額	397	261	57	272	287
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	72.1%	66.0%	14.1%	82.7%	49.2%
予算の状況の説明	*371千円については活用見込みがあったため確保していたが、県大会での敗退や、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の中止があり不用額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒への県外派遣支援	目標	(派遣費の一部を助成)	(派遣費の一部を助成)	(派遣費の一部を助成)	(派遣費の一部を助成)
		実績	22 名	6 名	17 名	36 名
達成状況説明	目標	()	()	()	()	
	実績					
①2022美津和タイガーインビテーション広澤克実杯全日本地域対抗選手権大会兼第35回AP日本代表選手選考会 ②令和4年度全九州高等学校体育大会ホッケー競技大会 ③NPBガールズトーナメント2022(全日本女子学童軟式野球大会) ④第46回全国高等学校総合文化祭 ⑤第53回九州中学校ソフトテニス競技大会 ⑥第7回全日本中学女子軟式野球大会 ⑦第27回九州小学校ソフトテニス選手権大会 ⑧第4回ろうきん杯九州女子小・中学生軟式野球大会 ⑨第37回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会 ⑩令和4年度第24回九州高等学校10人制ラグビーフットボール大会 ⑪第35回九州地区中学校選抜ソフトテニス選手権大会 ⑫第28回ヨネックス杯九州中学校ソフトテニス研修大会						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)
	実績		100%	100%	100%	
	目標	()	()	()	()	()
実績						
進捗状況説明	令和4年度に実施した保護者へのアンケートでは、「県内ではできない経験をすることができたのか」の設問について、「できた」との回答が100パーセントであり、目標を達成することができている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・県外派遣を実施することで、すべての保護者が「児童生徒が県外ではできない経験をすることができた」と回答しており、本事業の成果が表れている。 ・派遣した児童生徒の活動報告から満足度が高いことが窺われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の振り返りを深めるため、アンケートにより本事業の在り方について検証する。
今後の取り組み方針		
<p>・アンケートによって児童生徒がどのような経験ができたかを、具体的に把握することに努め、毎年度ははじめに行う村内の小中高校への派遣事業の周知や、村教育委員会発刊誌により全世帯への周知を行い、県外での大会派遣を引き続き支援していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	市町村負担金	
718	359	287	72	359



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、交付要綱に基づいた対象となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についてはコロナの影響により不用額は371千円となったが、予定していた事業が全て実施されていた場合は適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は対象費用の5割で妥当としている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途は事業目的に即した必要なものと考えている。

市町村名 大宜味村

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-① カラキ活用推進プロジェクト), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第4章-3-(7)-ウ), 担当部署名 (産業振興課), 事業実施(予定)年度 (平成28年度~令和13年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-1-(4))

事業内容 カラキ(オキナワニッケイ)をシナモンとしての価値に着目し村内の地域資源として活用し、苗木生産から一次加工、商品開発・ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。

効果発現年度 ■当年度 □後年度(令和4年度)

実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額 (単位:千円), H30年度, R1年度, R2年度, R3年度, R4年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計, B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: R4活動目標(指標), 達成状況 (R1年度, R2年度, R3年度, R4年度). Rows include 挿し木苗の栽培監理の実施, 鉢上げ作業の実施, 鉢上げ後の苗の栽培管理の完了, 苗の配布完了, 講習会の開催(年1回以上).

達成状況説明
・苗木の栽培育成については、昨年度までに作成した優良な挿し木の苗木の栽培育成のための管理作業を行った。
・定植苗の配布については、希望する農家を募集・審査・栽培講習会を開催し優良苗木を配布を行った。

Table with 7 columns: R4成果目標(指標), 基準値(年度), R1年度, R2年度, R3年度, 目標値(R4年度). Rows include 挿し木苗の栽培管理の完了, 鉢上げ作業の完了, 鉢上げ後の苗の栽培管理の完了, 苗の配布完了, 講習会の開催(年1回以上), and R4成果目標 (開発した商品を活用した村内事業者11店舗以上).

進捗状況説明
・挿し木苗の栽培管理の完了...令和2年度に挿し木した苗をトンネル内で栽培管理を行った。
・鉢上げ作業の完了...令和2年度に挿し木した苗の鉢上げ作業を行い、約450鉢を作ることが出来た。
・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了...鉢上げされた苗は除草・かん水等の作業により栽培管理を行った。
・苗の配布完了...希望する15名の農家に511本の優良種苗を配布した。
・講習会の開催(年1回以上)...配布を決定した農家向けに定植方法を中心に栽培講習会を開催した。
・開発した商品を活用した村内事業者11店舗以上...目標の11店舗を上回る14店舗での活用が展開できた。

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証		<ul style="list-style-type: none"> 配布先の農家の栽培環境がそれぞれ異なる。 整枝・剪定方法等の収穫に直結するような栽培技術がまだ確立されていない。 カラキ葉を出荷できる農家が少なく供給が限られているので商品開発等が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培がうまくいっている配布先農家で現地検討会を開催し、栽培技術の普及・平準化を図る。 栽培技術については県の関係機関等にも相談して技術向上・普及をめざす。 カラキの供給量を上げるために葉が多く収穫できる栽培技術について配布先農家それぞれで検討する。
	今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 農家に配布した苗の栽培状況について現地調査や聞き取り調査を行い、栽培技術に関する情報を収集する。 農家への配布終了後の苗木の増殖については、これまで配布した農家が自主的に取り木等で増殖できるようにする。 今後のカラキの商品化については村内のカラキの増殖具合を見ながら県内の食品関係者等と一緒に取り組む。 			

		資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">711</td> <td style="text-align: center;">711</td> <td style="text-align: center;">568</td> <td style="text-align: center;">143</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	711	711	568	143	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費												
711	711	568	143	0												
		<pre> graph LR A[大宜味村 711千円] --> B[報酬 611千円] A --> C[旅費 1千円] A --> D[需用費 99千円] B --> E[挿し木作業員(延べ2名) 611千円] E --- F["(作業員2名の報酬)"] C --- G["(費用弁償(通勤手当) 1千円)"] D --- H["(消耗品費 99千円)"] </pre>														
資金の流れの点検・評価	評価	点検項目			評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。														
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			○任用職員は、村の規則に準じ採用した。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			○予算規模は事業内容に見合ったものと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											